

(2018年度)

## 2 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は23ページ, 4問である。)

### 受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 次の問いは、藤原京と平城京という、7～8世紀に造営された2つの都城に関するものである。問題文をよく読んで、それぞれ記号で答えなさい(藤原京は解答用紙のaの欄、平城京はbの欄に、それぞれ記入すること)。

問1 藤原京と平城京の成立過程について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 2つの都城へ遷都が行われたのは、それぞれ何年か。次のうちから、もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 690    ② 692    ③ 694    ④ 696    ⑤ 698    ⑥ 700  
⑦ 702    ⑧ 704    ⑨ 706    ⑩ 708    ⑪ 710    ⑫ 712

- (2) 次に掲げた史料の下線部のうち、藤原京(宮)について述べているもの、平城京(宮)について述べているものはそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。なお、〔 〕内は各記事が掲載されている文献である。

- ① (推古天皇十六年)秋八月辛丑の朔癸卯、唐の客、京に入る。……〔『日本書紀』〕
- ② ……大宮の地は、山川も麗しく、四方の国の百姓の参出で来る事も便りにして、……。〔『日本紀略』〕
- ③ ……我が造る 日の御門に 知らぬ国 寄し巨勢道より 我が国は常世にならむ 図負へる 奇しき亀も 新た代と……〔『万葉集』〕
- ④ ……津の国の今の京に至れり。所のありさまを見るに、その地、程狭くて条里を割るに足らず。……〔『方丈記』〕
- ⑤ ……廿日乙酉午時、第二舟薩摩国阿多郡秋妻屋浦に著く。廿六日辛卯、延慶師和上を引いて大宰府に入る。……四日、京に入る。……〔『唐大和上東征伝』〕

(3) 次のうち、2つの都城に遷都を行った天皇について、正しく説明した文章はそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 治世中に、百濟からの五経博士の来日、「任那四県」の割讓、筑紫国造磐井の乱があった。
- ② 豊浦宮に即位し、のち小墾田宮に移って政務を執った。百濟聖明王から仏像などを受け取った、「仏教公伝」時の天皇を父に持つ。
- ③ 近江大津宮に遷都した天皇を父に持ち、自身は先帝の崩御後、3年間の称制を経て即位した。
- ④ 飛鳥浄御原令を施行した天皇を姉に持ち、自身は息子の崩御を受けて即位。その治世に、皇朝十二錢鑄造の端緒が作られた。
- ⑤ 大宝律令制定時の天皇を兄弟に持ち、自身は親から譲られて即位。その治世には、三世一身法の発布など、律令体制をめぐる大きな改革が図られた。

(4) 藤原京についても平城京についても、その遷都を強く推進したのは、藤原不比等だと考えられている。次の文章のうち、不比等に関する説明として誤っているものはどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 中臣鎌足の息子で、兄に僧侶の定恵がいる。
- ② 大宝律令の制定に参画し、養老律令編纂の中心となった。
- ③ 娘の宮子を文武天皇の後宮に入れ、藤原氏が天皇家の外戚になる端緒を作った。
- ④ 奈良時代前半の後宮で大きな力を持っていた県犬養橘三千代は、不比等の後妻である。
- ⑤ 娘の長娥子を長屋王の夫人とし、同王の即位を画策した。

問2 藤原京と平城京をめぐる同時代の法制について、以下の問いに答えなさい。

(1) 次のうち、2つの都城が一応の完成をみて遷都に至るまで、造営に際し主に依拠した法令はそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 近江令      ② 飛鳥浄御原令      ③ 大宝令      ④ 養老令  
⑤ 開元令      ⑥ 永徽令      ⑦ 弘仁格      ⑧ 延喜格

(2) 次に掲げた史料のうち、2つの都城が宮都と定められていた時期に発せられた法令・政策は、それぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 昔在の天皇等の立てたまへる子代の民、処々の屯倉、及び、別には臣・連・伴造・国造・村首の所有る部曲の民、処々の田荘を罷めよ。  
……
- ② ……其れ万機の巨細、百官己に総べ、皆太政大臣に関白し、然る後に奏下すること一に旧事の如くせよ。……
- ③ ……其の新たに溝池を造り、開墾を営む者有らば、多少を限らず、給ひて三世に伝へしめん。……
- ④ ……斯の形勝に因り、新号を制すべし。宜しく山背国を改めて山城国と為すべし。……
- ⑤ (……春正月乙巳、武蔵国秩父郡、和銅を献ず。)……八月己巳、始て銅錢を行ふ。

問3 藤原京と平城京の規模・構造について、以下の問いに答えなさい。

(1) 次のうち、2つの都城の規模について正しく説明した文章はそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 淀川水系と向日丘陵に地形的に制約されたが、より上流の都に引けを取らない本格的都城であった。
- ② 中ツ道・下ツ道・横大路といった古道が京極をなすと考えられていたが、近年の発掘でより大規模であることが確認された。
- ③ 条坊制を持たず、国政を分担する宮と豪族の居館などから成っていた。
- ④ 東西約4.5 km、南北約5.2 kmの規模を持つ。
- ⑤ 東西約4.3 km、南北約4.8 kmの規模を持つ。

(2) 次のうち、2つの都城の宮殿の位置について、正しく説明した文章はそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 宮は中央北部に置かれ、2つの朝堂院を東西に併設していた。
- ② 宮は中央北部に置かれ、朝堂院と豊楽院が並び立っていた。
- ③ 宮は京域の中央に置かれ、後背にも条坊が広がっていた。
- ④ 宮は巨大な湖の至近に置かれ、大規模な内乱のあとに荒廃した。
- ⑤ 複数の時代の宮が、一ヶ所に重層して営まれた。

(3) 次のうち、藤原京造営の際に依拠した漢籍、平城京がモデルとした都市とされるものはそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 礼記    ② 周礼    ③ 春秋    ④ 史記    ⑤ 長安
- ⑥ 洛陽    ⑦ 開封    ⑧ 大都

問4 藤原京と平城京に置かれた寺院について、以下の問いに答えなさい。

(1) 次のうち、2つの都城の京域内に存在した寺院はそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 飛鳥寺    ② 延暦寺    ③ 川原寺    ④ 教王護国寺  
⑤ 西大寺    ⑥ 大官大寺    ⑦ 東大寺    ⑧ 平等院

(2) 多くの寺院を内外に配した藤原京・平城京に対し、平安京では、故京からの大寺院の移転をあえて行わなかった。その理由はなぜか。もっとも適切なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 奈良時代後半、仏教が政治に深く介入する弊害があったため。  
② 最澄の天台宗、空海の真言宗に優先的に寺地を割り当てるため。  
③ 早良親王の怨霊を鎮圧するのに、仏教が役に立たなかったため。  
④ 南都の大寺院が独立的な力を持ち、遷都に強く反対したため。  
⑤ 南都を呪術的に鎮護する必要があったため。

問5 次に掲げた古代の出来事のうち、藤原京と平城京で起きた出来事はそれぞれどれか。もっとも適切なものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 乙巳の変    ② 大津皇子の謀叛    ③ 壬申の乱  
④ 承和の変    ⑤ 長屋王の変    ⑥ 藤原種継の暗殺  
⑦ 藤原広嗣の乱    ⑧ 文武天皇の即位

**問6** 日本古代の都城は、中国王朝のそれに倣って造営されたが、日本独自ともいべき特徴がある。それはどのようなことか。特徴自体を〔A群〕から、その理由を〔B群〕から、それぞれもっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

〔A群〕

- ① 天子の住む住居や中央の官衙から成る宮殿を持つ。
- ② 条坊制によって区画されている。
- ③ 一部にしか羅城を持たない。
- ④ 「朱雀」の名を冠した、南北に走る大路を持つ。
- ⑤ 交易の場としての市を持つ。

〔B群〕

- ① 併せて制定した律令に基づき、宅地班給を計画したため。
- ② 都城の立地が、地域の経済流通の中心に計画されたため。
- ③ 最初の都城藤原京が、既存の古道を基礎に造営されたため。
- ④ 氏族制が、律令制を支持する基盤として残存していたため。
- ⑤ 都へ攻め込むような外敵が想定されていなかったため。

2

次の文章を読んで、関連する図A～Eを見て、あとの問いに答えなさい。なお、図B・Cは、原図の描線を写したトレース図である。

荘園(庄園)は、11世紀半ばには各地に広がったとみられるが、その領主や伝領のされ方は様々であった。また、畿内およびその近辺には小さな規模の寺社領荘園が多かったように、地域・立地によって、規模や景観も多様であった。

いわゆる「寄進地系荘園」の代表例とされてきたのは、(ア)国の鮑田郡にあった鹿子木荘である。1086年、(イ)である沙弥寿妙の孫高方が、大宰大貳藤原実政にその所領を寄進し、春宮大夫藤原公実を受け継がれた。その後、公実の外孫隆通(願西)が、領家の年貢400石中200石余を割いて高陽院内親王に寄進し庇護を求め、その権利はのちに(ウ)職として高陽院の菩提所勝功德院さらに仁和寺に受け継がれた。13世紀の末に、寿妙・高方ゆかりの藤原氏女が「権門に押領」された権利を回復するため、(エ)の供僧方に寄進した。そのため、こうした鹿子木荘の成立と相伝に関する文書が(エ)に伝来、所蔵されている。

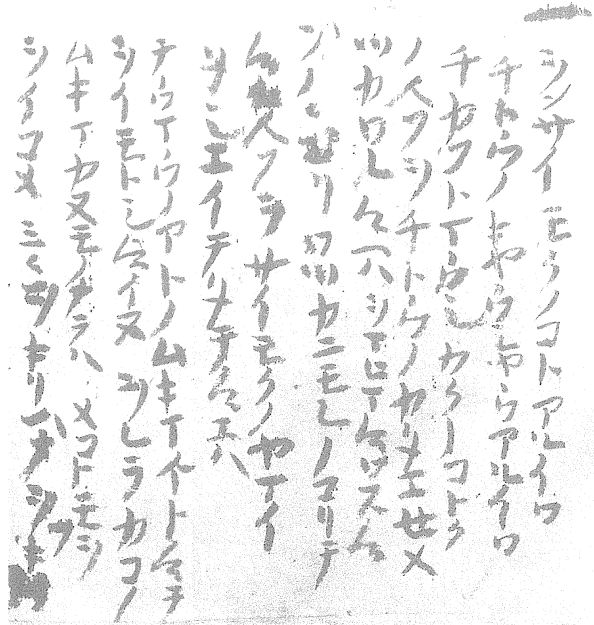
(オ)国伊都郡の柿田荘の場合、立荘された時期は不明だが、12世紀後半には、後白河上皇の御願寺で「三十三間堂」として知られる(カ)の所領となっている。その後、(キ)の再興に奔走した僧文覚の強い要請によって、上皇から同寺に寄進された。以後、中世を通じて(キ)領だったようで、同寺には立券の際に作成されたと推定される著名な柿田荘絵図が伝来している。この絵図には、荘園の境界を示す(ク)がはっきりと描かれているほか、荘内の用水路や寺社などが描かれており、当時の景観がよくわかる。

同国有田郡の東半部を占める(ケ)荘も著名な荘園である。(ケ)荘は、寂楽寺を領家、円満院門跡を(ウ)としていたが、11世紀から(コ)がこの荘園を領有しようとしており、14世紀初めには(コ)領となった。そのため、(ケ)荘関係文書は(コ)に多数伝来するが、そのなかでも最もよく知られている文書の一部が図Aである。これは建治元年すなわち西暦(サ)年に地頭の(シ)氏を訴えるために提出された百姓申状で、13ヶ条にわたって地頭の非道を言上しており、この部分では、(シ)氏が暴力的な支配で過重な役を課すため、領家の求めている(ス)の納入ができないと訴えている。



このように、地頭の支配拡大の動きに直面した荘園領主たちは、幕府に訴えて地頭の年貢未納などの動きをおさえようとしたが、現地に根をおろした地頭の行動を阻止することはできなかった。紛争を解決するために領主たちのなかにはやむを得ず地頭に荘園の管理いっさいをまかせて、一定の年貢納入だけを請け負わせる地頭（セ）の契約を結ぶ場合もあつ

図A



た。さらには、現地の土地の相当部分を地頭に分けあたえ支配を認めあう（ソ）の取決めをおこなうものもあつた。

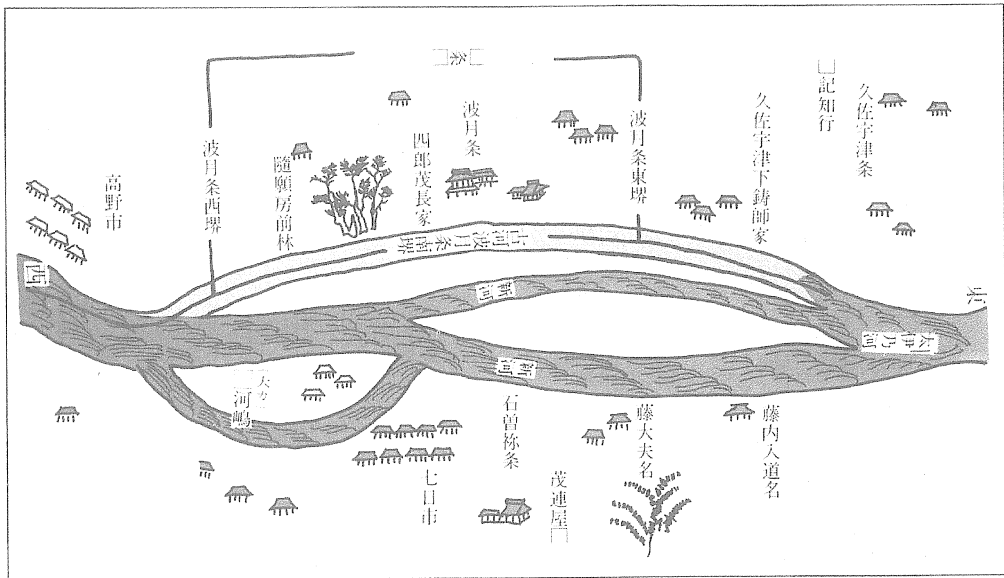
（ソ）の際に作成された荘園絵図としてよく知られているのが、図Bとしてあげた、（タ）国河村郡にあつた（チ）荘の（ソ）絵図である。この絵図は（チ）荘の領家松尾神社と地頭との間で、（ソ）が行われた時に作成されたもので、東分（東方）を地頭分、西分（西方）を領家分とし、田畑だけでなく、山林・馬野（牧場か）なども均等に分けている。絵図には朱線が引かれ、そこに（ツ）と（テ）の花押が据えられており、地頭・領家それぞれの支配権を確認している。

图B



図Cは、(ト)国(ナ)荘の波月条を描いた絵図である。(ナ)荘成立の時期は不明だが、(イ)は城氏で、12世紀には近衛家領となっていたらしい。その地頭職は木曾義仲を追討した恩賞として(ニ)の弟義茂に与えられ、のちに地頭(セ)となった。絵図には、義茂の子孫である茂連・茂長の屋敷も描かれているほか、七日市や高野市といった市庭も描かれている。

図C



こうした、荘園の市庭を描いた絵画史料として知られているのが、『一遍上人絵伝(一遍聖絵)』である。図Dとしてあげたのは、一遍が踊念仏を始めた(ヌ)国佐久郡の小田切に近い(ネ)市を描いた部分で、市が開催されていない閑散とした風景がわかる。図Eは、(ノ)国の福岡市を描いた部分で、こちらは、壺、布、米、魚、鳥などが売られている賑やかな様子が伝わってくる。

图D



图E



問1 文中の(ア)(オ)(タ)(ト)(ヌ)(ノ)に入る適切な国名を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 甲斐    ② 信濃    ③ 備前    ④ 備後    ⑤ 肥後
- ⑥ 備中    ⑦ 丹後    ⑧ 肥前    ⑨ 石見    ⑩ 伯耆
- ⑪ 越後    ⑫ 越前    ⑬ 越中    ⑭ 紀伊    ⑮ 伊勢

問2 文中の(イ)(ウ)(セ)(ソ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 新補率法    ② 請所    ③ 下司    ④ 遵行    ⑤ 請文
- ⑥ 下地中分    ⑦ 預所    ⑧ 雑掌    ⑨ 入会    ⑩ 長者
- ⑪ 本家    ⑫ 半済    ⑬ 開発領主    ⑭ 公文    ⑮ 不輸

問3 文中の(エ)(カ)(キ)(コ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 神護寺    ② 大徳寺    ③ 比叡山(延暦寺)
- ④ 園城寺(三井寺)    ⑤ 高野山(金剛峰寺)    ⑥ 興福寺
- ⑦ 蓮華王院    ⑧ 東大寺    ⑨ 東寺(教王護国寺)

問4 文中の(ク)に入る最も適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 橋    ② 大道    ③ 田堵    ④ 勝示
- ⑤ 塞の神    ⑥ 宝印    ⑦ 山の神    ⑧ 縄

問5 文中の(ケ)(シ)(チ)(ナ)(ネ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 新田    ② 奥山    ③ 田染    ④ 真壁    ⑤ 湯浅
- ⑥ 西岡    ⑦ 伴野    ⑧ 黒田    ⑨ 阿氏河    ⑩ 喜連川
- ⑪ 春近    ⑫ 大田    ⑬ 小笠原    ⑭ 色部    ⑮ 東郷

問6 文中の( サ )に入る適切な数字を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 1270    ② 1271    ③ 1273    ④ 1275    ⑤ 1277    ⑥ 1279

問7 文中の( ス )に入る適切な語句を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 麻布    ② 材木    ③ 絹    ④ 麦    ⑤ 米    ⑥ 漆

問8 文中の( ツ )と( テ )に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の中から1つ選びなさい。

- ① 将軍 と 執権    ② 守護 と 守護代    ③ 守護 と 地頭  
④ 地頭 と 領家    ⑤ 連署 と 奉行人    ⑥ 執権 と 領家  
⑦ 連署 と 領家    ⑧ 守護 と 領家    ⑨ 執権 と 連署

問9 文中の( ニ )に入る適切な人名を、次の中から1つ選びなさい。

- ① 源義経    ② 梶原景時    ③ 和田義盛    ④ 北条義時  
⑤ 三浦義澄    ⑥ 大江広元

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

近世期には江戸、大坂などの都市が発達し、幕府の政策や人々の生活に大きな影響を与えた。「将軍のお膝元」である江戸は旗本、御家人や参勤交代に伴う大名、家臣の集住により、最大の消費都市となった。「天下の台所」と称された大坂では、蔵屋敷に運び込まれた西日本、北陸、東北各地の藩の年貢米・産物が蔵元・掛屋などの商人によって販売された。こうした蔵物や民間商人の販売する( 1 )は問屋の手によって江戸など各地へと運ばれた。幕府は大坂の( 2 )組問屋、江戸の( 3 )組問屋といった株仲間を公認して競争防止・利益保護を目指すとともに、株仲間から運上・冥加の収入を得た。老中の( ア )は株仲間を積極的に公認することで運上・冥加の増収を図り、長崎貿易における俵物取引の奨励などを行ったが、それは当時の商業の発達に注目した政策であった。

大坂から江戸への物資輸送手段として17世紀中頃より菱垣廻船や樽廻船が就航するなど、海運業が盛んになった。また、両都市の貨幣は大坂が銀遣い、江戸が金遣いであったため銭貨を含めた貨幣交換取引を担う両替商が成立した。都市を中心とする商品経済の発達により、米市や海運業で成功した大坂の( イ )のような大商人が生まれるとともに、各地の村邑では商品作物が生産され、諸藩の奨励策のもと多くの特産物が生まれた。

また、各農村では商品作物の取引を通じて在郷商人が成長し、江戸周辺地域では江戸向けの商品生産が促進され、いわゆる江戸地回り経済圏が形成されるなど、各地が都市経済と結びついて確実に変化を遂げていった。

江戸の人口増は、新たな都市問題を生んだ。幕府は( ウ )の建議にもとづき、飲み水を確保するため、江戸町人の玉川庄右衛門・清右衛門兄弟に玉川上水路の開削を命じ、( a )年に完成させた。また、1657年の( 4 )の大火後、幕府は武家屋敷を郊外へ移転させるとともに、道幅の広い広小路を設け、旗本に( 5 )を命じるなど防火対策を講じた。各地に消費物資を依存する江戸の場合、飢饉の影響もまた甚大なものとなる。1782～87年の( 6 )の飢饉の際は、江戸・大坂で米価騰貴によって生活が逼迫した人々が米屋、質屋、酒屋の富商を襲撃するなど、全国各地で大きな混乱が生じた。老中の( エ )は旧里帰農令を

出して日稼ぎの貧しい農民を帰村させるとともに、各地に社倉・義倉を設けて飢饉に備えさせた。とくに江戸市中では町入用の節約による( 7 )を行わせ、これを江戸町会所の管理のもとに置いて、非常用の囲米の購入や飢饉・災害時の貧窮民の救済資金などに充てた。

商品経済の発展、都市と農村の結びつき、相次ぐ大飢饉は、幕府・藩の統治を大きく揺さぶり、寛政期には倹約、特産物奨励、藩専売制強化などの策が講じられた。文化・文政期には順調な農業生産が維持されるなかで化政文化が花開き、江戸・大坂・京都を中心として各地に普及したが、それは都市の姿を映し出す鏡でもあった。( オ )は江戸の湯屋を舞台にした滑稽本『浮世風呂』を書き、( カ )は江戸で一稼ぎしようと田舎から出てきた男の夢物語を『金々先生栄花夢』に描き、( キ )は浮世絵「名所江戸百景」のなかに江戸の姿を映し出した。江戸・大坂・京都の歌舞伎の芝居小屋は賑わい、その様子は錦絵や出版物、地方興行を通じて各地に伝えられ、歌舞伎をまねた地芝居も広まった。

しかし、天保年間に全国的に凶作となると、再び大飢饉と混乱が発生した。老中の( ク )は人返しの法によって貧民の帰村を強制する一方、1841年から翌年にかけて、物価騰貴の原因を株仲間求めてこれを解散させたが、却って混乱を助長した。大坂町奉行所の元与力で私塾( 8 )を経営していた大塩平八郎は窮民救済に奔走し、( b )年に同志とともに乱を起こした。また、藩財政・農家経済の危機をうけて、( ケ )は『広益国産考』を著し、商品作物の栽培・加工による藩・農家の増益を説いた。

幕府は1858年の日米修好通商条約以後、欧米各国と条約を結び、翌年より開港地での取引を開始したが、国内物産の輸出超過による品薄と海外産の安価な製品の流入による農村産業の圧迫が生じた。そのため、幕府は、五品江戸廻送令<sup>(イ)</sup>を発して物価抑制を図ろうとしたが、在郷商人や列国の反対で効果はあがらなかった。国内外の環境変化と都市の成熟によって積み上がった問題は、幕府滅亡後、明治新政府に引き継がれることとなった。



問1 文中の( 1 )～( 8 )にあてはまるもっとも適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 五                      ② 十                      ③ 十四                      ④ 二十                      ⑤ 二十一
- ⑥ 二十四                      ⑦ 享保                      ⑧ 元禄                      ⑨ 天保                      ⑩ 天明
- ⑪ 明和                      ⑫ 明暦                      ⑬ 懷徳堂                      ⑭ 廻米                      ⑮ 含翠堂
- ⑯ 関東取締出役                      ⑰ 小物成                      ⑱ 七分積金                      ⑲ 定火消
- ⑳ 新田開発                      ㉑ 助郷                      ㉒ 洗心洞                      ㉓ 俵物
- ㉔ 適々斎塾                      ㉕ 納屋物                      ㉖ 奉書火消                      ㉗ 町火消
- ㉘ マニユファクチュア

問2 文中の( ア )～( ケ )にあてはまるもっとも適切な人物名を、次の中から1人ずつ選びなさい。

- ① 阿部正弘                      ② 安藤昌益                      ③ 安藤信正                      ④ 井伊直弼
- ⑤ 伊能忠敬                      ⑥ 歌川広重                      ⑦ 大蔵永常                      ⑧ 大田南畝
- ⑨ 荻生徂徠                      ⑩ 葛飾北斎                      ⑪ 角倉了以                      ⑫ 喜多川歌麿
- ⑬ 紀伊国屋文左衛門                      ⑭ 曲亭馬琴                      ⑮ 恋川春町                      ⑯ 後藤庄三郎
- ⑰ 山東京伝                      ⑱ 式亭三馬                      ⑲ 十返舎一九                      ⑳ 調所広郷
- ㉑ 田沼意次                      ㉒ 為永春水                      ㉓ 東洲斎写楽
- ㉔ 奈良屋茂左衛門                      ㉕ 保科正之                      ㉖ 堀田正睦                      ㉗ 本多利明
- ㉘ 松平容保                      ㉙ 松平定信                      ㉚ 松平信綱                      ㉛ 松平慶永
- ㉜ 水野忠邦                      ㉝ 宮崎安貞                      ㉞ 柳沢吉保                      ㉟ 淀屋辰五郎
- ㊱ 柳亭種彦

問3 文中の( a )( b )に入るもっとも適切な数字を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 1637                      ② 1641                      ③ 1652                      ④ 1654                      ⑤ 1834                      ⑥ 1837
- ⑦ 1841                      ⑧ 1846

問4 下線部(あ)「商品作物」のうち、幕府・諸藩が重視した民間必需のものを四木三草という。次の中から四木の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- ① 桐・漆・杉・楮
- ② 桑・柿・茶・檜
- ③ 桐・柿・杉・楮
- ④ 桑・漆・梅・檜
- ⑤ 桐・柿・杉・檜
- ⑥ 桑・漆・茶・楮
- ⑦ 桐・柿・梅・楮

問5 下線部(い)「五品江戸廻送令」に示された五品とは具体的に何か。次の中から正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- ① 雑穀・水油・蠟・呉服・生糸
- ② 干鰯・水油・塩・木綿・砂糖
- ③ 雑穀・鯨油・塩・木綿・砂糖
- ④ 干鰯・鯨油・蠟・呉服・生糸
- ⑤ 雑穀・水油・塩・呉服・砂糖
- ⑥ 干鰯・水油・蠟・木綿・砂糖
- ⑦ 雑穀・鯨油・蠟・呉服・生糸

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

明治政府は、使節団<sup>(a)</sup>や留学生を海外に派遣するいっぽうで、多数の外国人を招き入れ<sup>(b)</sup>、各方面での教育指導にあたらせた。それらを通じて、実証と分析を重んじる(ア)が日本にもたらされ、おもに学問と結びついて根づいていった。物理学や医学など自然科学の分野では、のちに世界的な発明・発見につながったもの<sup>(c)</sup>も少なくない。人文社会科学においても、経済学やドイツ流の(イ)主義的歴史学<sup>(d)</sup>がさかんになり、方法、史料の共有・蓄積を目的に出版物や研究会がつくられ、研究がすすめられた。

いっぽう、性急に西洋文化を受け入れ、自文化を軽視する態度に対しては、滞在日記を残した御雇外国人(ウ)のように、批判的な者もあった。またヨーロッパでは、パリ万国博覧会<sup>(e)</sup>をきっかけにジャポニズムが巻き起こるなど、日本文化への評価があり、近代日本の文化は、常に日本と西洋との葛藤の上に形成されてきたといえるだろう。

その特徴は演劇にもよく現れている。江戸時代から庶民の娯楽であった歌舞伎には、しばしば荒唐無稽な設定がみられたが、明治になると、史実に即した演出による(エ)や、新時代の風俗をとり入れた(オ)物が演じられるようになった。後者には(カ)<sup>(f)</sup>が翻訳した『西国立志編』や、(キ)を題材とした、江戸歌舞伎の人気作者・河竹(ク)の作品もある。明治20年代には、(キ)の主筆だったジャーナリスト福地桜痴<sup>(g)</sup>が、多くの近代歌舞伎を執筆した。俳優では、(エ)を主導した九代目(ケ)や、(オ)物に力を入れた五代目(コ)が、(サ)座の再興に尽力した初代(シ)とともに、歌舞伎界を盛り立てた。

また、文学者で劇作家の坪内逍遙<sup>(h)</sup>は、西洋の理論を歌舞伎に応用した作品を発表するかたわら、島村抱月とともに西洋演劇を積極的に紹介した。逍遙は世情をありのままとする(ス)主義を主張したが、この考え方を通俗小説として展開した尾崎紅葉の(セ)<sup>(i)</sup>は、(ソ)<sup>(j)</sup>が芝居の演目にとり入れて上演し、人気を博した。

問1 空欄(ア)～(ソ)にあてはまる語を、次の中からそれぞれ1つずつ選んで記号で答えなさい。

- |          |         |          |         |
|----------|---------|----------|---------|
| ① 哲学     | ② 市川左団次 | ③ 加藤弘之   | ④ 新派劇   |
| ⑤ ベルツ    | ⑥ 活歴    | ⑦ 現実     | ⑧ 世話    |
| ⑨ モース    | ⑩ 散切    | ⑪ 科学的精神  | ⑫ 「桐一葉」 |
| ⑬ 中村正直   | ⑭ 都新聞   | ⑮ 実証     | ⑯ 新国劇   |
| ⑰ 市川団十郎  | ⑱ 「浮雲」  | ⑲ 赤毛     | ⑳ 世阿弥   |
| ㉑ 万朝報    | ㉒ 尾上菊五郎 | ㉓ 外骨     | ㉔ 写実    |
| ㉕ 時代     | ㉖ ケーベル  | ㉗ 東京日日新聞 | ㉘ 黙阿弥   |
| ㉙ 歌舞伎    | ㉚ 新劇    | ㉛ 森田     |         |
| ㉜ 「金色夜叉」 | ㉝ 田口卯吉  | ㉞ 明治     | ㉟ 自然    |

問2 下線部(a)～(e)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(a)の一つである岩倉使節団に随行した人物が創立した学校を、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- |          |            |         |
|----------|------------|---------|
| ① 日本女子大学 | ② 明治学院大学   | ③ 学習院大学 |
| ④ 津田塾大学  | ⑤ お茶の水女子大学 |         |

(2) 下線部(b)に該当する人物が、直接設計に携わっていない建築物を、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| ① 銀座煉瓦街 | ② 日本銀行本館 | ③ 帝国ホテル |
| ④ 富岡製糸場 | ⑤ 鹿鳴館    |         |

(3) 下線部(c)に該当する事項と人物の組み合わせとして、適切なものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① ペスト菌 — 志賀潔
- ② 貝塚 — 大森房吉
- ③ アドレナリン — 秦佐八郎
- ④ 梅毒 — 高峰讓吉
- ⑤ ビタミンB<sub>1</sub> — 鈴木梅太郎

(4) 下線部(d)と直接関係しないものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 史学会雑誌
- ② 大日本史料
- ③ 史的唯物論
- ④ 久米邦武
- ⑤ 史料編纂掛

(5) 下線部(e)に関する記述として、内容に誤りがあるものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 1862年のロンドン世界産業博覧会に、日本の工芸美術品が出品された。
- ② 1867年のパリ万国博覧会で、日本の浮世絵や陶磁器が評判を呼んだ。
- ③ 1867年のパリ万国博覧会には、水戸藩の徳川昭武が派遣された。
- ④ 明治期には、国内でも殖産興業を目的とした内国勸業博覧会が催された。
- ⑤ 1967年、東京オリンピックに続いて大阪で日本万国博覧会が開かれた。

問3 下線部(f)～(j)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(f)と同じ人物による翻訳書を、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 泰西国法論
- ② 万国公法
- ③ 人権新説
- ④ 民約訳解
- ⑤ 自由之理

(2) 下線部(g)に該当する人物と、刊行物の組み合わせとして適切なものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 瀧田樗陰 — 中央公論
- ② 村山竜平 — 大阪毎日新聞
- ③ ビゴー — 時事新報
- ④ 陸羯南 — 国民之友
- ⑤ 矢野竜溪 — 二六新報

(3) 以下は下線部(h)が教授をつとめた学校に関連する事項である。古い順に並べたとき、2番目にあたるものはどれか、記号で答えなさい。

- ① 講師の安部磯雄が、社会民主党の結成に加わった。
- ② 初代総長をつとめた人物が内閣総理大臣となり、第一次内閣を組閣した。
- ③ 学徒出陣で多数の学生を戦地に送り出すことになった。
- ④ ライバル校との野球試合が、ラジオで放送されるようになった。

- (4) 次のA群は下線部(i)の作品中に登場する事項、B群はそれに対応する事業もしくは制度の開始を示している。B群について、古い順に並べたとき、3番目にあたるものはどれか、記号で答えなさい。

A群		B群
新橋停車場	—	① 鉄道開通
第一高等学校	—	② 高等学校令公布
円	—	③ 新貨条例公布
子爵	—	④ 華族令公布

- (5) 下線部(j)の説明として正しいものを、1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 川上音二郎が妻・捨松とともに始めたものである。
- ② 小山内薫が築地小劇場で上演したのが最初である。
- ③ 関西の浪花節をとり入れるなど、大衆的な演出に特徴がある。
- ④ 大正時代には剣劇にも力を入れ、歌舞伎にかわる娯楽演劇に成長した。
- ⑤ 歌舞伎に対する現代劇として、人気小説を劇化した。

